

令和7年度「#あおばな in 合浦小学校」開催概要

県内の小学生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和7年10月14日（火）10：30～11：45

○場所：青森市立合浦小学校 2階 アリーナ

○参加児童：3～6学年 97名

＜児童との意見交換＞

代表児童からの意見について知事と対話をしました。

- ①夢の実現のために大切なこと
- ②地域のためにできること
- ③県の防災に関する取組の周知
- ④青森県の魅力とそのPRについて

※知事から児童へのコメントの一部を紹介します。

- ・夢を叶えるためには、「夢を目標に変える力」が必要。夢は漠然としたものなので、その手前で小さな目標をどんどん立てて、こつこつ努力していけば、必ず報われる。
- ・今取り組んでいることを、引き続き一生懸命に続けることが一番地域のためになる。
- ・大人になる上で大事なことは、「人のせいにせず、自分自身の考えを持つ」こと。自分自身で物事を考え、行動できるような人間になってほしい。
- ・「青森県は何もない」とよく言われるが、青森県にないものを探す方が難しいと思うくらい、豊かな自然と伝統が県内にちりばめられている。

＜青森県クイズ＞

意見交換の後、各学年対抗で、青森県に関するクイズ大会を実施し、対話を通じてチームで知恵を出し合い、答えを導くプロセスの重要性について考えました。

＜対話ゲーム＞

青森県クイズの後、野球ボールを使ったゲームに約40名の児童が参加し、対話の重要性について考えました。

